

2018年度 科学教育若手教員研修会 大分大会 実施報告書

1 テーマ「児童生徒の主体的な問題解決を生む理科の授業づくり」

2 ねらい

- ① 自然の事物現象やそれを利用した技術について関心を持つ。
- ② 理科の指導について、児童生徒の主体的な問題解決を生む指導計画・本時案等を立案できる力を高める。
- ③ 九州地区における他支部の教員と交流を深める。

3 開催期日

2018年 6月 23日(土)～24日(日)

4 実施内容

(1)開会行事

- | | |
|-------------|------------------------|
| ①開催支部長挨拶 | S S T A大分支部前支部長 渡辺文生 |
| ②理事長・常任理事挨拶 | 理事長 高野瀬一晃様 常任理事 藤田まり子様 |
| ③来賓紹介 | S S T A大分支部前支部長 渡辺文生 |
| ④講師紹介 | S S T A大分支部事務局長 板井悟 |
| ⑤日程説明 | S S T A大分支部事務局長 板井悟 |
| ⑥諸連絡 | 財団事務局 木村栄二様 |

(2)講演会

別府温泉の特徴や温泉の色がかわる仕組みなどについて大分大学教育学部 大上和敏先生に講演をしていただきました。



(3)フィールドワーク

別府地獄めぐり 海地獄・かまど地獄(2か所)を大上先生の解説のもと見学しました。温泉の色がかわる仕組みなどの話を踏まえ、研修員の先生方も意欲的に温泉の観察を行いました。

地獄めぐりを終えた後、地熱発電や水力発電とも違う、大分市のターボブレードという会社が考案した「湯けむり発電」施設の見学を行いました。代表取締役 林 正基さんに施設の解説をしていただきました。

今回、フィールドワークを班活動で行ったため、九州各県から集い、初めて出会う研修員の先生方が、共に足湯に入るなど打ち解け合う時間ともなりました。

送迎のバスを待つ間、ホテルでの班別研修で作成する授業の流れを話し合う姿もありました。班活動を取り入れたフィールドワークは、とても有意義であったと考えています。



(4)班別研修

大分大会では、これまでの学年部会ではなく6年生の「土地のつくりと変化」「水溶液の性質」の2単元に絞るとともに、1つの単元について2グループという班構成で、本時案づくりを行いました。

班での話し合いの中で、温泉を水溶液の1つの素材と考えたり、剥ぎ取り標本の活用を考えたりするなど、自分たちがやってみたい授業を本時の中に盛り込むことができていました。

事前課題として、研修員のみなさんには、活用場面に絞った本時案（大分支部作成）を配布しました。本時案は、自由に素材、学習活動、支援の仕方などを変更できることを伝えていました。このことで、研修員のみなさんにとっては、学習場面を想定しやすく、班別の研修が進めやすかったのではないかと考えています。

班	単元
A班, B班	6年「土地のつくりと変化」
C班, D班	6年「水溶液の性質」



(5)班別発表

班別発表では、A班（10分）→B班（10分）→班での協議（10分）→全体協議（10分）という流れで進めていきました。班での協議を行うことで、どの班も自分の考えを少人数の中で積極的に語っていました。また、班別研修で、同じ単元について教材研究・本時案作りをしていることから、自分たちの本時案と比べながら質疑をしている姿がみられました。研修員からは、「同じ実践を比べることができ分かりやすいし、考えやすかった」など肯定的な意見をたくさんいただきました。

(6)閉会行事

- | | | |
|------------|-----------------|--------|
| ①開催支部長挨拶 | S S T A大分支部支部長 | 野見山準五 |
| ②副理事挨拶 | 副理事長 | 淵上正彦 様 |
| ④ 次期開催支部挨拶 | S S T A福岡南支部 | 今林義勝 様 |
| ⑤ 諸連絡 | 財団事務局 | 木村栄二 様 |
| | S S T A福岡北支部支部長 | 古澤律子 様 |

5 おわりに

本研修会では、14名の研修員が参加して行われました。フィールドワークの楽しさや理科の授業を作るおもしろさを感じていただきたいとの思いで準備を進めました。また、研修会を1時間の授業と見立てた時に、どんな手立てが有効なのか、そのために何を仕組んでおくのか、ゴールをどこにおくのかということを意識して企画運営を行いました。

開会行事のときから、班別活動を見据えて、班ごとに座席を指定し、フィールドワークでも班活動を行うことで、スムーズに班別研修（本時案づくり）に入れたのではないかと思います。

研修員のみなさん、1泊2日の研修おつかれさまでした。本研修会での学びを、研修員のみなさんの日々の授業に活かしていただけると幸いです。

最後に関係各位に感謝を申し上げるとともに、ソニー教育財団には、特段のご支援、ご配慮を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。